湯本新聞

＜発行日＞
2021(令和03)年
10月1日
金曜日

＜発行元＞
4年　Y・T
4年　R・S

コブナラ国内最大級

これまでみきまわりが日本一だったミズナラの木は、七・三五メートルありました。

それより太いかもしれないミズナラの木が二岐山にあることが分かりました。

そこで七月下旬に湯本小全校生がまきじゃくを使って実さいにはかりました。すると七・四六メートルあり、国内最大級であることが分かりました。

このミズナラの木を湯本の人たちは、「コブナラ」とよんでいます。理由は、みきまわりに大きなコブがいくつもあるからです。

コブナラのコブは六十センチくらいの大きさです。大きさはそれぞれちがうので大きいものやそれよりも小さいものといろいろです。

きれいな平なめ

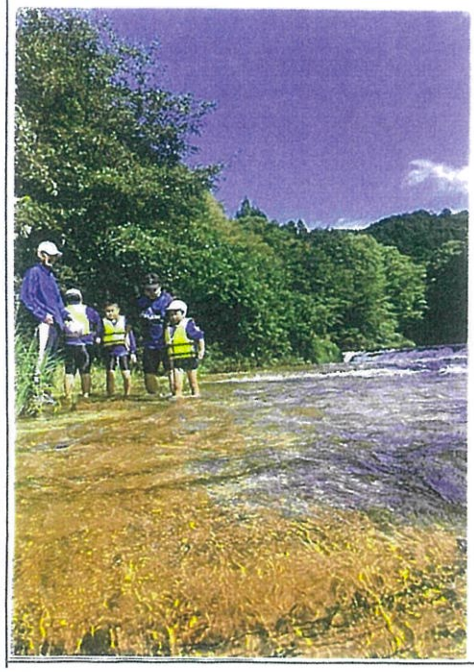
九月七日に大っきにある平なめに湯本小学校全校生と先生方と行きました。

平なめの川は、川底のほとんどが平らな岩でだん差が岩のわれ目があり水の流れが強いはく力のある川。そして川底の岩が見えるほど水がすきとおっていてきさく流れるようすが美しいです。

川の水がものすごく冷たかったです。入ったら足がつめたいような温かいような、ふしぎなかんかくでした。

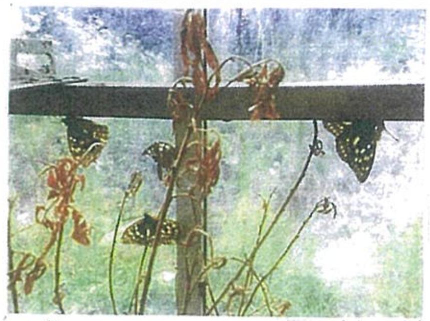
それは足がだんだん冷たさになれてくるからだと思います。最初は歩くことができなかったけど最後は首のところまで入れました。

平なめの水はあんなにきれいなのに魚はどこをみてもいなくて水中こん虫は小さい虫ばかりでなんで大きい生き物がいないんだろうと思いました。これから調べようと思います。



オオムラサキ発見

七月上旬、福島県天栄村湯本のレタスハウスで地いきの方が、オオムラサキを数十ひき発見しました。レタスを食べないはずのオオムラサキ。ちゃんとした理由ではないですが、レタスハウスにたまたま風で入ったと言われています。専門家の人でもこんなに一度に数十ひきのオオムラサキを見たことがないらしいです。



ぼくは、これらを聞いてオオムラサキについて調べることにしました。オオムラサキは、絶めつきぐしゅです。毎年いますが、少ないときと多いときがあります。期せつにより羽の色が変わります。最初のときはうちゅうみたいですが、期せつの終わりごろにはちゃ色の羽にかわっています。

湯本二岐山の温泉

福島県天栄村湯本には、いっぱいの温泉があります。湯本に二件、二岐山に五件あります。なぜこんなに温泉があるかというと、二岐山が火山だからです。この合計七この旅館の名前を紹介します。湯本に湯口屋と分家の二つの旅館があります。そして二岐山に桂祗荘、柏屋、ふじや、湯小屋、大丸あすなろの五つの旅館があります。

インターネットで調べたところ、この七つの旅館は評価が三星から五をいっています。全部良い旅館ということです。星が多いほど評価がよいということです。

火山が近いので温泉はとても熱いです。だいたい四十五度という一般人の入れない温度でもそのためにちゃんと水がでるようになっています。でも水でうめないでがまんして入るととても気もちいです。そして、はだもつるつるになります。そして、ろてんぶろもあり、ろてんぶろはぬるいです。そして、外のけしきも見れて最高です。山なのでめずらしい虫が見れることがあります。